

4段階評価 「4」～期待以上 「3」～ほぼ期待どおり 「2」～やや期待を下回る 「1」～改善を要する

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
知 に 関 す る 内 容	1 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。	意欲的に授業に参加する児童 ＜アンケート＞ 算数の単元テストにおいて平均到達率80%以上の児童 ＜評価テスト＞	昨年度から実施しているBBT（朝の音読・計算・漢字）をさらに充実させ、児童の集中力、学習意欲の向上に学校全体で取り組んできた。今後、習熟の時間の確保を図っていきたい。	3	3	3	授業参観の中で、大変意欲的に取り組む児童の姿が見られ、うれしかった。今後もさらなる努力を。BBTは素晴らしい取組だと感じる。評価データの公開も考えてほしい。
	2 望ましい学習習慣の定着を図る。 ※ 学びの約束7か条の徹底 ※ 評価方法は全てアンケート	授業の準備をきちんとし、チャイム黙想をする児童 話を聞くときは、立腰の姿勢で静かに最後まで聞く児童 質問には、はっきりと返事や反応を返す児童 ノートを素早くていねいに書く児童 印を付けたり、図や絵を描いたりして、問題を正しく理解する児童 粘り強く考え、自分の考えを文字・数字・図や絵などでしっかり残す児童 進んで手を挙げ、全員に届く声で最後まで発表する児童	本校児童の実態を基に作成した「大東小学びの約束」も3年目になり、少しずつ定着してきている。全体的に良くなってきているので、くり返し指導を行い、さらに児童の意識を高めていきたい。 今年度は校内の主題研究において、BBTと日々の授業を結び付け、研究授業等も積極的に行いながら学力向上に向けて努力を続けきた。今後も職員一人一人の授業力向上に向けて取組を続けていきたい。 家庭学習の充実など、さらに家庭との連携が必要だと感じている。	2			学力向上に向けての努力を感じる。年を追うごとに学力も向上してきていると感じる。BBTの定着を望む。 文字の形に気を付けて丁寧に書くことも大切にしてほしい。 家庭学習の充実、家庭との連携がとても難しい時代だと感じる。その中でも様々な取組をされていて素晴らしいと感じる。
	3 読書活動の充実を図る。	目標冊数を読む児童（低…100冊 中…80冊 高…60冊）＜記録＞	図書委員会からの呼びかけなどもあり、児童らは進んで読書に取り組んでいる。	3			今後も、本が好きな児童を育ててほしい。

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
徳 に 関 す る 内 容	1 希望とやる気が育つための教育活動の推進と支援体制の構築を図る。	自分のことを好きな児童 ＜アンケート＞ 当番や委員会の仕事を主体的にする児童 ＜アンケート＞ 将来の夢をもっている児童 ＜アンケート＞	今年度は、委員会活動を通して、児童の主体性を育てることを狙いに、各月の目標と委員会活動をつなげることを試みてきた。各委員会とも、発表（呼びかけ）や意欲付けなど、工夫して取り組む様子が見られた。	3	3	3	自分を好きになるために、自分の良さを自分で見つけることは難しい。他人から認められることが大切なので、児童一人一人の良さをほめてあげてほしい。
	2 ルールやマナーを守る態度の育成を図る。	かかとをそろえ、靴を並べる児童＜委員会調査＞ 廊下の右側を歩く児童 ＜アンケート＞ 無言で掃除をする児童 ＜アンケート＞ 自分ら進んであいさつをする児童＜アンケート＞ 「さん」をつけて名前を呼ぶ児童＜アンケート＞	無言清掃については、大東小の自慢とも言えるぐらい、学校全体として落ち着いて取り組むことができています。 あいさつについては、個人差が大きく、今後もくり返し指導していく必要がある。 「さん」付けはなかなか定着せず、大きな課題である。今後も、意味付けを含めて、さらに声掛けを続けていきたい。	3			指導における難しさを感じるが、継続的な指導を行ってほしい。 「さん」付けは保育園でも課題となっている。保小連携して、意識して呼び捨てにしないようにしていく必要がある。
	3 よりよい人間関係づくりができる児童の育成を図る。	誰とでも同じように仲良くする児童＜アンケート＞ いじめ（意地悪や悪口を含む）をしない児童 ＜アンケート＞	心のアンケート→教育相談→チャレンジ会議という流れを毎月とり、児童の実態把握に努めてきた。児童一人一人を全職員で見守る姿勢をこれからも大切にしたい。	3			難しい問題であるとは思いますが、目を離さずじっくり取り組んでいただきたい。

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
体 に 関 す る 内 容	1 基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成を図る。	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童 <アンケート>	朝ごはんについてはほとんどの児童がしっかり食べてきている。一方では、夜遅くまでゲームや動画視聴などで生活リズムが整わない児童も多い。ノーメディアデーの取組を含め、今後も家庭に対して強く呼びかけていく必要がある。	3	3	3	社会の変化、うねりが大きく、学校の大小にかかわらず非常に大変な時代である。本当に家庭の協力が必要。親、地域、学校が高い意識で取り組んでいく必要がある。
		ノーメディアの日に取り組む児童<アンケート>					
		弁当の日に取り組む児童<記録>					
	2 学年や個に応じた体力づくりの推進を図る。	体育の時間に一生懸命運動する児童<アンケート>	運動が好きな児童は多く、体育の時間や昼休みなど、積極的に体を動かしている。持久走や縄跳びなど、体力向上に向けての取組も積極的に実施し、児童の運動に対する意欲を上げることができた。 1Kウォークの呼びかけを学校全体で続け、歩いて登校する児童は少し増えてきたように感じるが、各家庭での意識の差は依然として大きい。	3	3	3	校区が広いので、歩いて登校を意識されている家庭は素晴らしいと思う。元気に登校している子どもたちを見て元気をもらっている。雨の日の体育館利用権利の券など、良い取組でほほえましい。一方で、歩く児童と歩かない児童の差が大きいのは課題であると感じる。
		体力向上のための運動に積極的に取り組む児童<アンケート>					
		晴れた日は歩いて登校する児童<アンケート>					
		毎日元気に登校する児童<欠席者数調査>					
	3 日常的な保健・安全指導の充実を図る。	自分の体のことを知り、悪いところを進んで治療する児童<むし歯治療率>	学校全体としては毎日元気に登校してくる児童がほとんどである。遅刻や欠席が多い児童は固定化されており、規則正しい生活習慣など、家庭との連携が不可欠である。 虫歯治療率は現在約43%であり、今後も呼びかけを続けていきたい。	3	3	3	虫歯治療は小さい頃からの歯みがき習慣が大切。ここでもまた各家庭の意識の違いがあるのだろうと感じる。
		けがをせず、安全に気をつけて学校生活を送る児童<保健室利用状況>					
早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童<アンケート>							

観点	重点目標	評価指標（目指す児童像）	学校の自己評価	自己評価		学校関係者評価	
				学校	総合	評価	コメント
教 育 環 境 に 関 す る 内 容	1 小中高一貫教育、保小小（大東中央保育園・大東小・大平小）連携の推進を図る。	近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	コロナ禍の中での難しさもあったが、機会を見て合同研修会や集合学習を実施することができた。今後も連絡を密に取り合いながら、連携を図っていきたい。	3	3	3	今年度は感染予防のため、今までのように気軽に行き来できなかったことを残念に思う。様々な行事も中止になり、大変だったことだろう。
		市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校<アンケート>					
	2 地域学校協働活動の推進を図る。	地域と連携して教育活動に取り組む学校<アンケート>	地域行事への参加が難しく、地域連携という部分では十分とは言えないが、地域の方々には学校教育に温かく支援をしていただいた。	3	3	3	感染症対策のため、難しい一年だったことと思う。今後また地域行事等が戻ることを願う。
		地域に貢献する学校<アンケート>					
	3 開かれた学校づくりの推進を図る。	前年度の学校評価を生かす学校<教育課程>	ホームページの更新や学校だよりの発行などにより、積極的に情報発信を行ってきた。 教職員の資質向上に向けて、授業研究を核とした研修の充実だけでなく、法令遵守を目指したコンプライアンス研修などもくり返し実施し、地域からの信頼を得られるように努力を続けている。	3	3	3	ホームページ等、大変楽しく拝見している。今後も継続してほしい。
		積極的に情報発信をする学校<アンケート>					
	地域から信頼される学校<アンケート>						